

製造業

株式会社 イマムラスマイル コーポレーション

<http://i-s-co.jp/>

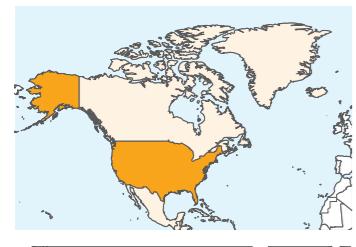
1952年に「筑後薄板製作所」として創業。1971年、食品用折箱の製造を開始し、2010年に現在の社名となる。事業拡大のため、近隣に工房を設立して海外進出に備える。主商品は「木匠」である。

►CHALLENGE!
「メイドインジャパン」を
包んで世界へ

▶進出先



アメリカ



■会社概要

- 所在地: 福岡県久留米市
- 業種: 外食産業用包装資材・折箱製造業
- 資本金: 600万円
- 創業: 1952年 ●従業者数: 15人

地域資源「耳納杉」の間伐材が匠の技で息を吹きかえす 日本発「MOTTAINAI」を商品化



耳納杉のわっぱ容器は香りもいい



Step-1 なぜ海外展開に至ったか?

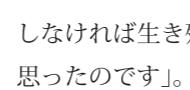
殺菌性と通気性のいい「経木」を 進化させて日本土産に

日本に昔からある包材がある。肉や刺し身を包む「経木」である。紙が高価だった時代に、木を薄く削って食材を包む経木は、通気性が良く、殺菌性に優れている。



イマムラスマイルコーポレーションは食品容器や外食産業用梱包資材を販売してきた会社である。創業当時は経木が素材の主流だったが、原料はポリエチレンや紙へと移行する。使い捨ての包材業界は、何十銭という薄利を競う世界でもある。

「私たちのような小規模事業者は、価格競争で大手に勝つことはできません。オリジナリティのある商品を開発



見ただけで香りも楽しめる容器



そこで先人の知恵を借り、経木を進化させたのが同社オリジナルブランドの「木匠」である。今村智幸会長は語る。

「我が社が開発したわっぱ容器『木匠』は手頃で軽く、お土産の包材として使ってもらいます。お弁当箱型や筒型にすれば、使い捨てでなく、雑貨のような使い方もできます。日本らしいエコな考え方と技術は、海外で高く評価されるのではないかと考え、海外への進出を検討するようになりました。」



海外展開への進展

特許と実用新案登録で オリジナルの技術を輸出する

木匠の素材は、筑後川の恩恵を受け

た肥沃な土壤である耳納連山で育てられた耳納杉の間伐材(森林の成長過程で密集化する立木を間引く際に発生する木材。商品価値は低く、捨てられることが多い。)を使用している。彈力性のある耳納杉は、わっぱ型の容器



にも適している。「海外進出するのであれば、国際基準の『安全データシート』が提出できる素材にこだわろうと、薄板を貼り合わせる接着剤から安全な物にこだわりました。どうしても反り返ってしまう蓋の部分をお風呂の蓋のように折り畳み式にすることで、デザインと機能を両立した容器を作ることができました」と、今村須美香社長。折り畳み式の蓋は実用新案を取得。また、薄板を貼り合わせる工法は、オーダーメイドの機械で開発したもので、国内・海外特許を出願中である。実用新案登録出願は、類似商品が大量に出回ることで、価格競争に巻き込まれないようにするための自衛策である。



海外展開スタート

食にこだわるなら容器にもこだわりたい メイドインジャパンを包んで世界展開

「オリジナリティがあるからこそ、海外に展開する大手メーカーにもプレゼントすることができます」と今村須美香社長。

昨年から、外食産業に強い貿易商社3社との商談が始まった。



ミリ単位で薄板を削るオンラインの技術

「貿易会社の方々に興味を持っていただいたのは、わっぱ容器と箸袋、テーブルマットです。ハワイやニューヨークでレストランを展開している企業にも興味を持っていただき、商品を大量発注することは可能かという相談を受けたこともあります。残念ながら、大量生産に対応できずお断りしましたが、当社の商品に対する海外のニーズの高さを肌で感じています。海外の人には、日本食だけでなく、メイドインジャパンの容器に秘められた技術も楽しんでもらいたいですね」と須美香社長は自信を見せる。

2014年には経済産業省の「小規模事業者等JAPANブランド育成・地域資源活用支援補助金」に採択され、さらに、日本公庫の海外展開・事業再編資金(クールジャパン関連)の融資が九州で初めて適用された。日本公庫の融資を活用して輸出事業の拡大に取

組み、現在は福岡名産の八女茶の包材として海外展開が決定している。



今後のビジョン

歌舞伎、相撲、若者文化 外国人が求める日本のオリジナリティ

同社は、安心安全な商品を提供するだけでなく、日本の“もったいない”精神を海外に輸出することにこだわっている。

「日本文化の輸出という形での海外展開は、大きな展望を描くことができます。空港で販売するお土産はもちろんのこと、多くの人が訪れる歌舞伎座や大相撲、海外の人が興味を持つ

高校生の『カワイイ』持ち物として、我社の製品を使ってもらおうと計画中です。オリジナルのわっぱ容器は、是非、女子高生のお弁当箱として使ってもらいたいですね」と今村会長。モノづくりをとことん楽しむ姿勢が海外展開の原動力である。

Interview 我が社の「イスム」



今村 智幸氏

株式会社
イマムラスマイル
コーポレーション
会長



今村 須美香氏

株式会社
イマムラスマイル
コーポレーション
代表取締役



ティーブレッド

箸袋

テーブルマット

エコでオンラインの商品「木匠」で

日本人の繊細さを表現する

我が社のこだわりは、オンラインであることとエコロジーです。そもそも包材とは、棄てられる運命にある製品です。そこに先人の智恵を借りながら命を吹き込み、今風にアレンジしたのが「木匠」です。近年、市場に出回っている食品包材は、金属探知機に反応したり、安全性に不安がありました。弊社のオリジナル容器「木匠」は使い捨てのワンウェイのものから、繰り返し使っていただけるものまで、デザインにもこだわっています。採算性を睨みながらの設備投資ですが、その試行錯誤もまた楽しいものです。